

〈教育目標〉 人権の尊さを知り、仲間とともに実践できる子を育成する。

〈めざす子ども像〉 みんなが輝く中瀬の子

「な」 なかまを大切にする子

「か」 からだも心もきたえる子

「せ」 せいっぱいがんばる子

取組の重点目標

1 わかる授業を追求し、確かな学力につなげる。

○授業規律の定着・学習の習慣化を図ります。(家庭学習【1年～3年:30分以上・4年～6年:10分×学年以上】の取組)

○基礎・基本の徹底を図ります。(「ぐんぐんタイム」の活用・音読・読書活動の充実)

○自分の思いや考えを自分の言葉で語り合う力を育てます。(語り合う場の設定)

【学力の定着】英語教育の工夫・読書環境の充実・ICTの活用・食育

子ども「授業がわかりやすい。」目標97% 「本を読むとすることができた。」目標82%

保護者「家庭で学習習慣がついてきた。」目標82%

2 児童・地域の実態に即した人権・同和教育を推進する。

○自分の生き方・考え方をみつけ直し、主体的に差別をなくす意欲と実践的な態度を育てます。

(学年に合わせた地域の思いや願いについての学習・自分の行動や言葉を振り返る取組等)

○学力の向上に努めるとともに、互いを認め合う機会を増やし、自己肯定感を育てます。

○学校だよりや学級通信などを通じて、保護者・地域へ取組を発信します。

【自己有用感の育成】手話体験・関係機関との連携

子ども「自分にはよいところがある。」目標82%

「おかしいことがあったときに注意ができた。」目標85%

保護者「自分のことが好きになり、他人を認め合いながらなかまと豊かにつながり合う子どもの育成に取り組んだ。」目標97%

3 キャリア教育を推進し、生きる力を育む。

○挨拶・返事・整理整頓・清掃がすすんでできる子どもを育てます。(児童会を中心としたあいさつ運動等)

○体験活動等の機会を設け、活動を通して、将来の夢や希望をもてるように取り組めます。

○地元施設や地元企業と連携した取り組みをします。

○基本的な生活習慣がつくよう保護者とともに取り組みます。(「生活リズムチェック」の活用)

子ども「出会った人に自分からあいさつができた。」目標98% 「掃除を時間いっぱい一生懸命にすることができた。」目標95%

保護者「家族にも地域の人にも挨拶する習慣がついてきた。」目標85%

「学校からの連絡プリント等を進んで出す習慣ができています。」目標70%

4 安全で安心して学べる学校づくりに努める。

○善悪の判断力、社会生活に必要なルールやマナー、自他の生命を大切にすることを育てます。

○保護者や地域の人たちと連携を図り、交通安全や不審者対策の徹底を図ります。

○学校・学年通信やホームページを通して学校の取組や子どもたちの様子を知らせます。(年間20回以上の学級だより・

月1回以上の学校だよりの発行とホームページの更新。)

○教職員が心身ともにゆとりをもって子どもと向き合えるよう、安心して働けやすい環境を整えます。(労働安全衛生委

員会を学期に1回以上開催し、協議を行い、課題解決に取り組めます。)

子ども「学校に行くのが楽しい」目標100%

保護者「学級・学校通信などを通して学校の様子がよくわかった」目標95%